第1学年学級活動(2)指導案

平成 21 年 5 月 21 日 (火) 第 5 校時場 所 1 年教室 指導者 T 1 学級担任 T 2 栄養教諭

1. 題材名

たのしいきゅうしょくのしかたを おぼえよう (はしの正しい持ち方) (キ) 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

2. 単元設定の理由

給食が始まって 1 ヶ月過ぎ、児童は給食の時間を楽しみにしている。入学当初、正しい食器の置き方や持ち方について学習したので、正しい位置に食器を置いたり、正しい持ち方で食べられるようになっている。しかし、箸を正しく持つことができる児童は少なく、全体の 60%は誤った箸の持ち方で食べている。一方、学校生活にも慣れ、新しいことを学ぼうという学習意欲が高まっている時期でもある。そこで、食事マナーの基本である正しい箸や持ち方を学び、今後の円滑な食事のしかたにつなげたい。

3. 指導計画

事前指導	給食時 正しい食器の置き方や持ち方を学習し、実践する。
	事前調査 正しい箸の持ち方ができているか、給食の時間に調べる。
本 時	正しい箸の持ち方を覚え、実践できるようにする。
事後指導	ワークシートを家庭に持ち帰り、学習のことを保護者に伝え、家庭でも正しい
	箸の持ち方を練習する。
	給 食 時 給食を食べる前に、正しい箸の持ち方を全員で確かめる。
	正しくはしを持って食べている児童を称賛する。

4. ふくしまっ子食育指針との関連

・家族や友達との会話を楽しみ、食事マナーを身に付けることにより、食べる力を育てる。

5. ねらい

・ 箸を正しく持つことができる。

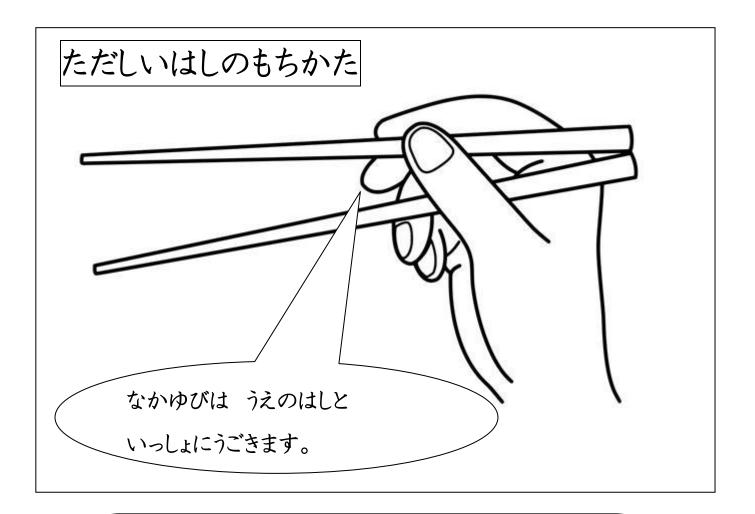
6. 準備

・ 家庭から持参した箸 2cm 角スポンジ(ひとり 10 個) 紙皿(ひとり 2 枚)

7. 展開

段階	学習内容・活動	時間	○指導上の留意点 ◆評価 資料等
活動の開始	 めあてをつかむ。 第の持ち方のイラストを見て、 気づいたことを発表する。 よくない持ち方はおかずが落ちそう。 正しい持ち方は見た感じがかっこいい。 本時のめあてをとらえる。 ただしいはしのもちかたでたべよう 	5 分	○ 正しい箸の持ち方は昔から ・箸や食 決まっている、みんながよい 器 の 正 気持ちで食べられるための しい 持きまりであることを知らせ ち 方 と る。(T1) よくな い 持ち 方の イラスト
活動の展開	 2 箸を正しく持って食べるとよい点を知る。 ・ こぼさず食べることができる。 ・ 魚の骨を上手に取り除くことができる。 ・ 見た目がよいのでいっしょに食べている周りの人もよい気持ちで食べることができる。 	5 分	○ 正しい箸の持ち方で食べる よさを理解できるようにする。(T2)○ 大人になったときに困らないように、今から練習しようとする意欲が高まるようにする。(T1)
	 3 正しい持ち方を練習する。 (1) 箸を 1 本だけ持ち、上の箸の動かし方を覚える。 (2) 下の箸も持ち、中指が上の箸といっしょに動くように練習する。 (3) 箸先が揃い、手首を動かさずに上の箸だけが動くように練習せる。 	30 分	○ 持参した箸を机から出すように指示する。(T1)○ 中指が正しい位置で箸を持てるよう、個別に支援する。(T1、T2)
	習する。 (4) 紙皿を机に置き、箸で角切り スポンジを移す練習をする。		○ 早さを競うのではなく、正しい持ち方でスポンジを移す 角切りことができるよう、個別に支スポンジを接する。(T1、T2)
活動のまとめ	4 正しい箸の持ち方を練習して思ったことやこれから実践すること を、発表する。	10 分	○ 一人一人の考えを称賛し、励ますことにより、児童の実践への意欲を高める。◆ 箸を正しく持って食べようとしているか、給食の時間に観察する。

はしを ただしく もって たべましょう



おうちの方へ

学校で、正しい持ち方を学習し、角切りスポンジをお皿に移す練習をしました。

給食の時間に、正しい持ち方で食べるように声をかけてまいりたいと思いますが、ご家庭でも本日より1週間はしの持ち方を練習し、正しくはしが持てるようご協力をお願いします。

はしの もちかた れんしゅう かあど

1ねん なまえ

ただしい はしの もちかたに なるように おうちでも れんしゅうしましょう。

()にちに _____せんせいへ もってきましょう。

はしのもちかたを	れんしゅうしたら	おうちのかたの
れんしゅうしたひ	○をつけましょう	しるし
がつにち		

